

## 県内の景気動向

概況（2024年7月）

景気は、緩やかに拡大している（11カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く継続しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、公共工事、民間工事ともに堅調な動きが続いていること、観光関連は、夏の旅行シーズンで国内外の旅行需要が高く、緩やかに拡大していること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、緩やかな拡大基調が継続するとみられる。

### 消費関連

百貨店売上高は、13カ月連続で前年を上回った。夏休みシーズンとなり観光客の来店増加が顕著となったほか、催事企画による集客効果などもあり前年を上回った。スーパー売上高は、既存店・全店ベースとともに26カ月連続で前年を上回った。県内客・県外客ともに来店客数の増加がみられ好調に推移した。新車販売台数は、レンタカー需要の高まりがみられた前年同月の反動により8カ月連続で前年を下回った。家電大型専門店販売額（6月）は、11カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は減少したが、国、県、市町村は増加したことから、3カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（6月）は、非居住用は増加したが、居住用は減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（6月）は、貸家、給与は増加したが、持家、分譲は減少したことから3カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は減少したものの、公共工事は増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメントは5カ月連続で前年を下回り、生コンは2カ月連続で前年を上回った。鋼材売上高は4カ月連続で前年を上回り、木材売上高は2カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、資材価格が高止まりしているものの、公共工事、民間工事ともに堅調な推移が見込まれることなどから回復の動きが強まるとみられる。

### 観光関連

入域観光客数は、32カ月連続で前年を上回った。国内客は5カ月ぶりに増加し、外国客は22カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は4カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入ともに2カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は29カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は7カ月連続で減少し、売上高は5カ月連続で前年を下回った。一部、天候の影響もみられたが、夏の旅行シーズン到来により国内外の旅行需要の高まりから概ね好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、夏休みや連休などで国内客の増加も予想されることから、緩やかに拡大するとみられる。

## 雇用関連

新規求人件数（6月）は、前年同月比5.0%減と6カ月連続で前年を下回った。産業別では、運輸業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）などで減少した。有効求人倍率（6月、季調値）は1.07倍で、前月から0.03ポイント低下した。完全失業率（6月、季調値）は2.9%と、前月から0.4ポイント低下した。

## その他

消費者物価指数（6月）は、前年同月比2.1%の上昇となり、34カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同2.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同2.3%の上昇となった。

倒産件数は4件で前年同月から1件増加した。負債総額は10億9,900万円で、前年同月比647.6%増となった。

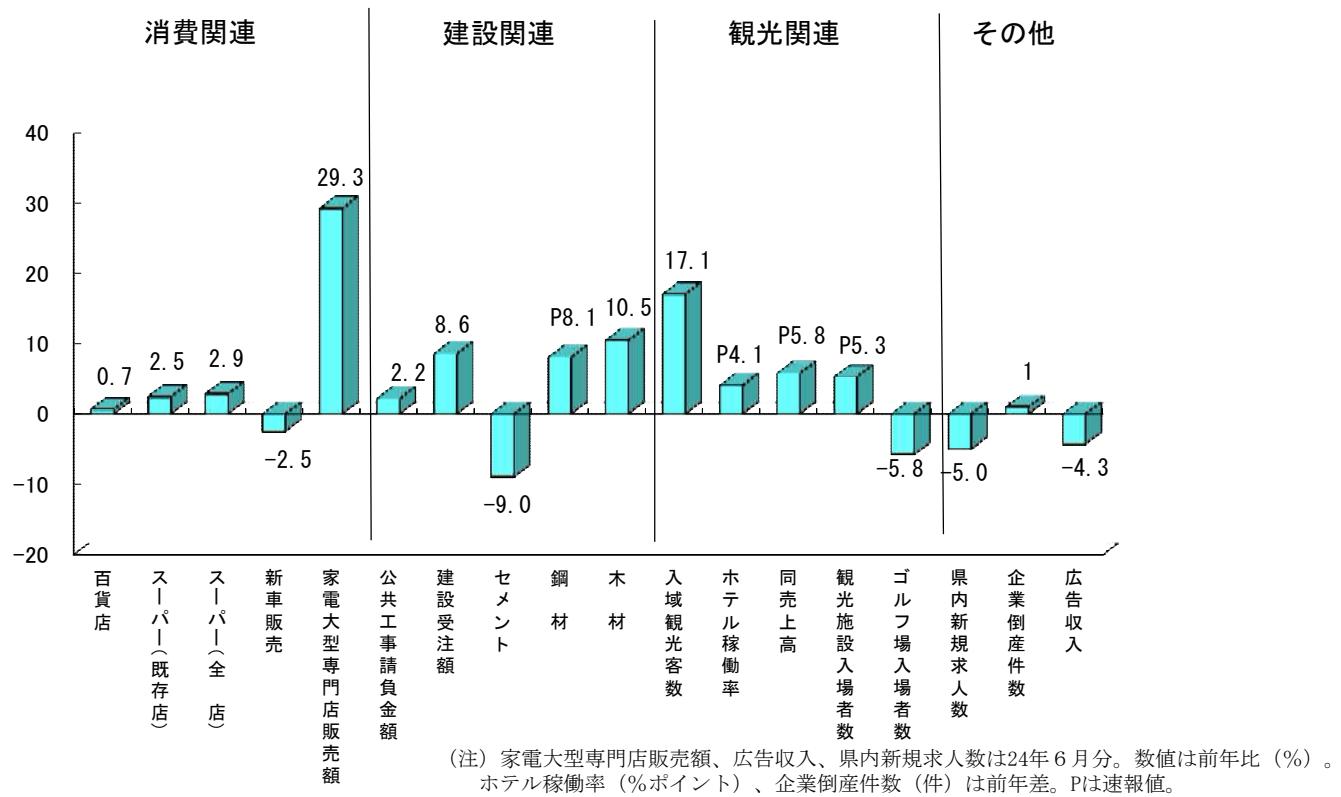
## りゅうぎん調査 (2024年7月)

	前年同月比	前年同期比 (2024.5-2024.7)	増減率(%)
<b>1. 消費関連</b>			
(1) 百 貨 店 (金額)	0.7		5.2
(2) スーパー(既存店)(金額)	2.5		4.2
(3) スーパー(全店)(金額)	2.9		4.6
(4) 新車販売(台数)	▲ 2.5		▲ 5.6
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(6月) 29.3	(4-6月)	18.2
<b>2. 建設関連</b>			
(1) 公共工事請負金額(金額)	2.2		25.6
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(6月) ▲ 16.2	(4-6月)	1.7
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(6月) ▲ 20.7	(4-6月)	▲ 3.5
(4) 建設受注額(金額)	8.6		▲ 13.7
(5) セメント(トン数)	▲ 9.0		▲ 4.2
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	3.3		1.2
(7) 鋼材(金額)	P 8.1	P	3.7
(8) 木材(金額)	10.5		4.3
<b>3. 観光関連</b>			
(1) 入域観光客数(人数)	17.1		13.3
うち外国客数(人数)	90.7		103.6
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 4.1	(前年同期差) P 3.7	
	(実数) P 67.0	(実数) P 59.8	
(3) " 売上高(金額)	P 5.8	P	4.1
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 5.3	P	6.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 5.8		▲ 8.5
(6) " 売上高(金額)	▲ 1.8		▲ 4.0
<b>4. その他</b>			
(1) 県内新規求人數(人数)	(6月) ▲ 5.0	(4-6月)	▲ 6.4
(2) 有効求人倍率(季調値)	(6月) 1.07	(4-6月)	1.10
(3) 消費者物価指數(総合)	(6月) 2.1	(4-6月)	2.8
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 1	(前年同期差)	3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(6月) ▲ 4.3	(4-6月)	▲ 2.3

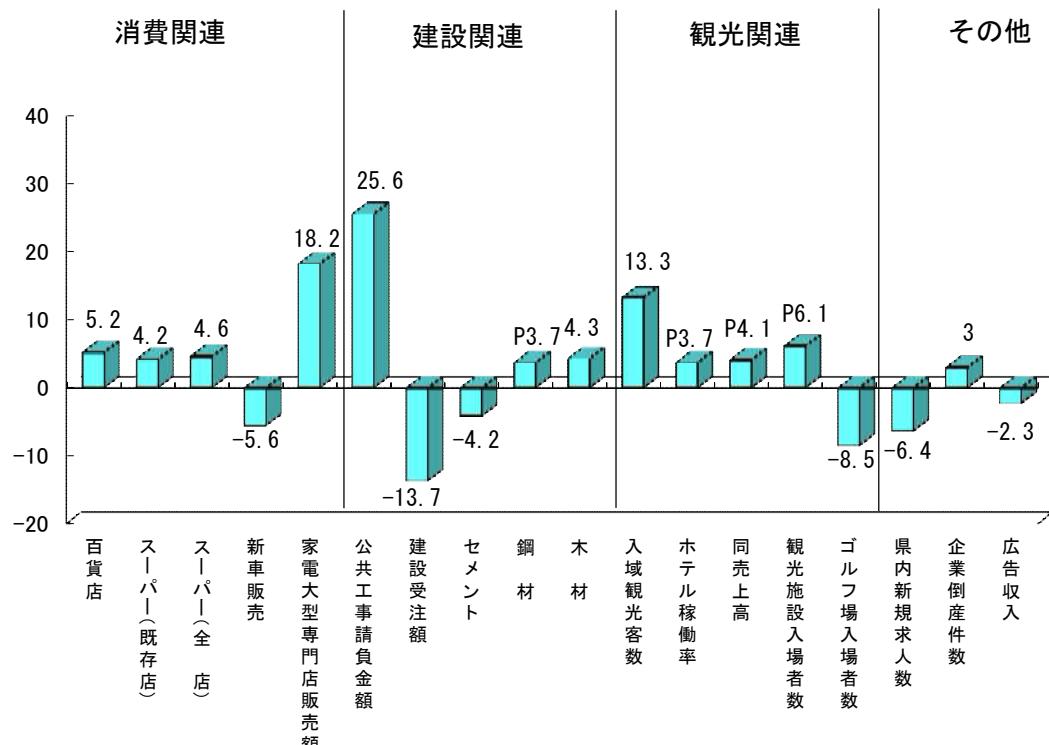
(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人數、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指數は沖縄県調べ。  
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人數(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2024年7月)



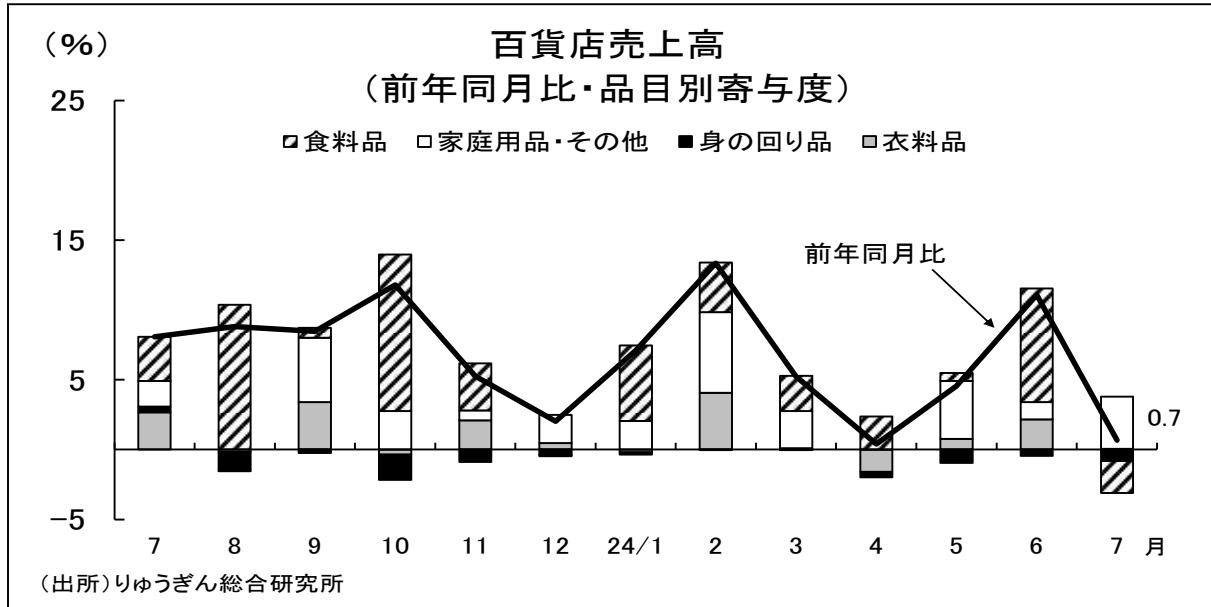
項目別グラフ(3カ月、2024年5月～2024年7月)



(注) 家電大型専門店販売額、広告収入、県内新規求人件数は24年4月～24年6月分。数値は前年比(%)。ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

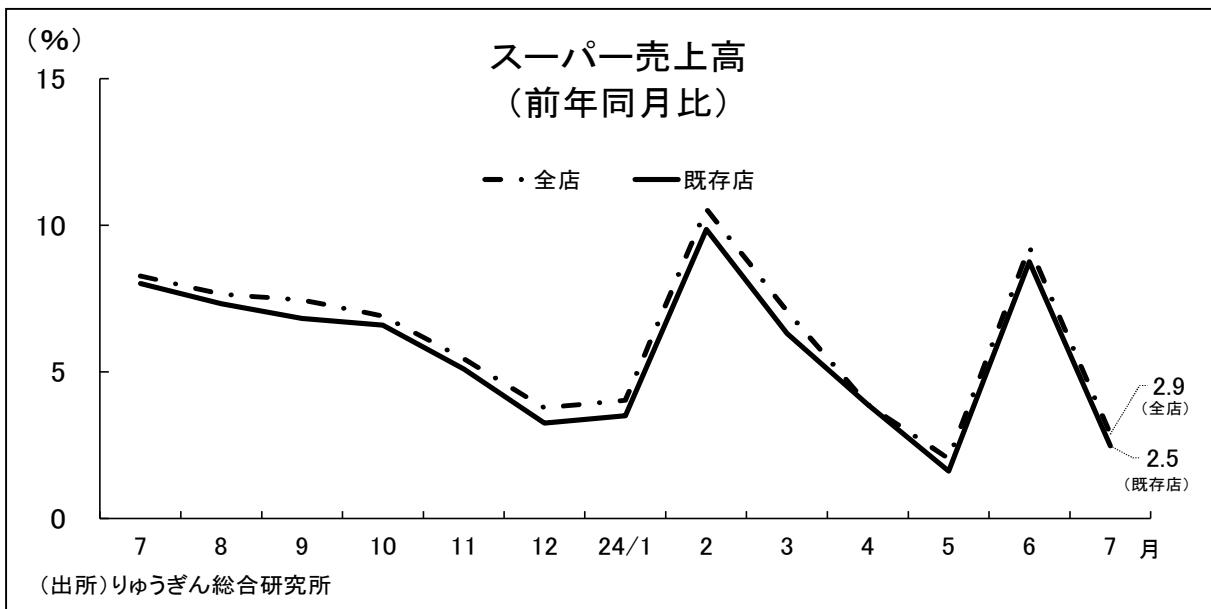
## 1. 消費関連

### (1) 百貨店売上高：13カ月連続で増加



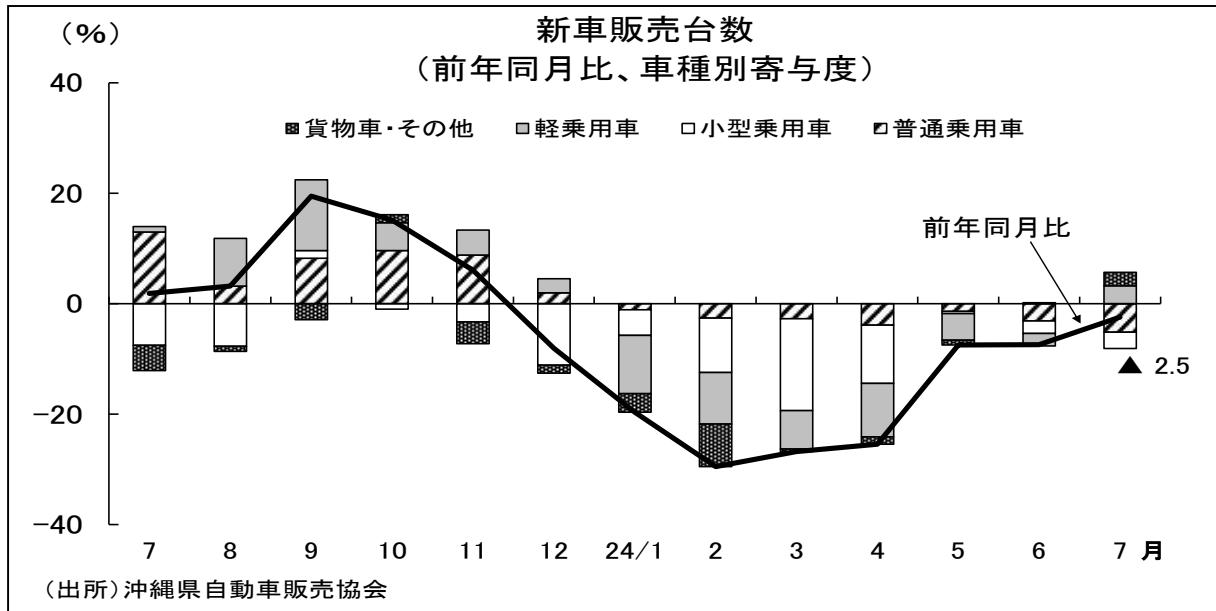
- 百貨店売上高は、前年同月比 0.7% 増と 13 カ月連続で前年を上回った。
- 夏休みシーズンとなり観光客の来店増加が顕著となったほか、催事企画による集客効果などもあり前年を上回った。免税では、化粧品などの雑貨類が好調となり売上増加に寄与した。
- 品目別にみると、衣料品が同 0.2% 増、家庭用品・その他が同 15.4% 増、食料品が同 5.7% 減、身の回り品が同 12.5% 減となった。

### (2) スーパー売上高：既存店・全店ともに 26 カ月連続で増加



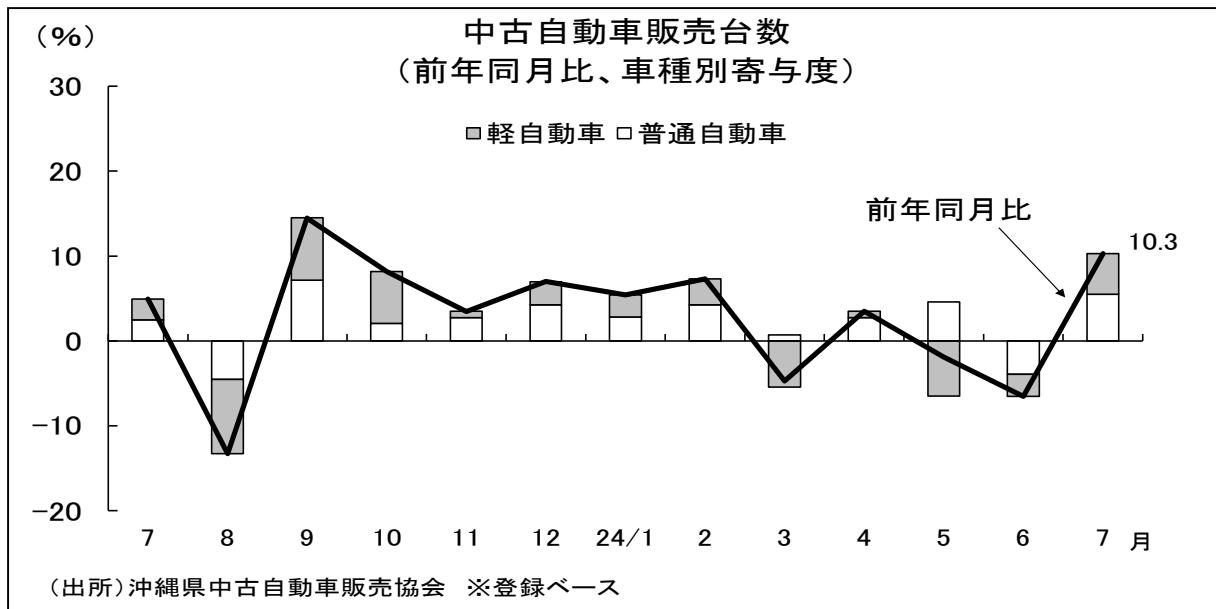
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比 2.5% 増と 26 カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇に加え、県内客・県外客ともに来店客数の増加がみられ好調に推移した。衣料品は、気温が高く推移したこと、夏を涼しく過ごすための涼活グッズなど季節商材が好調となり同 7.0% 増、食料品は同 1.4% 増、住居関連は同 6.8% 増となった。
- 全店ベースは同 2.9% 増と 26 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：8カ月連続で減少



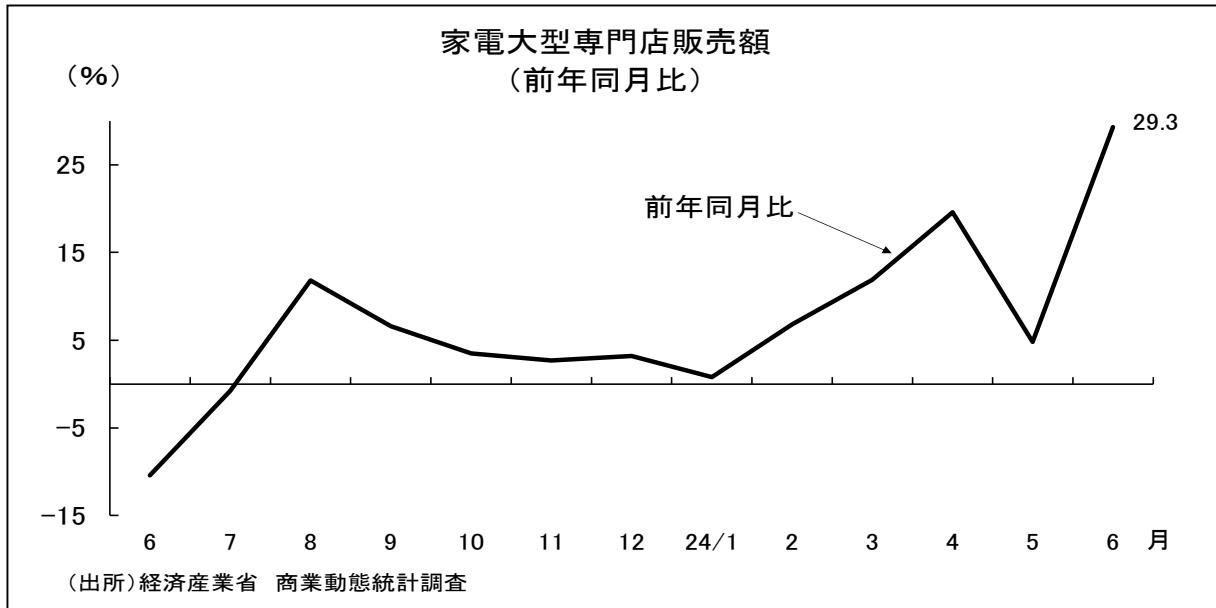
- 新車販売台数は4,615台で前年同月比2.5%減と8カ月連続で前年を下回った。
- 前年同月は観光需要が高まり、レンタカー登録台数が増加したことなどから反動減となった。
- 普通自動車（登録車）は2,694台（前年同月比12.2%減）で、うち普通乗用車は1,251台（同16.3%減）、小型乗用車は1,268台（同10.0%減）であった。軽自動車（届出車）は1,921台（同15.5%増）で、うち軽乗用車は1,509台（同11.3%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：3カ月ぶりに増加



- 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、2万1,100台で前年同月比10.3%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- 内訳では、普通自動車が8,695台（前年同月比13.8%増）、軽自動車が1万2,405台（同8.0%増）となった。

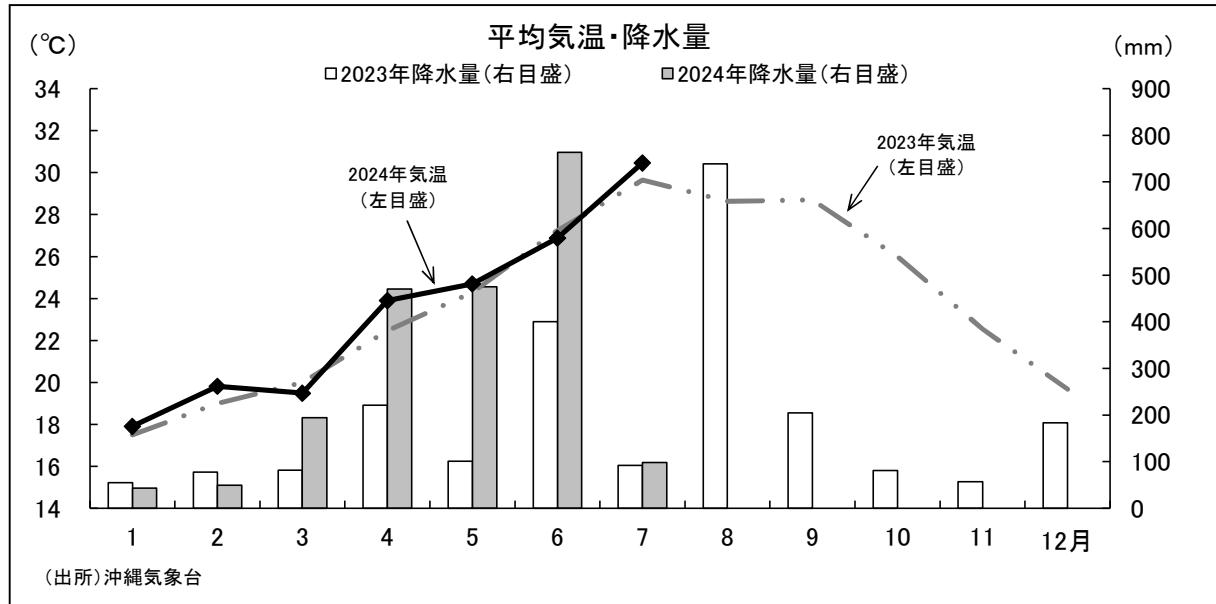
(5) 家電大型専門店販売額：11カ月連続で増加



- 家電大型専門店販売額（6月）は、前年同月比29.3%増と11カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇に加え、6月より開始した県の補助事業「おきなわ省エネ家電買換応援キャンペーン」により、対象となるエアコンや冷蔵庫などの買い換え需要の高まりがみられた。

(参考)

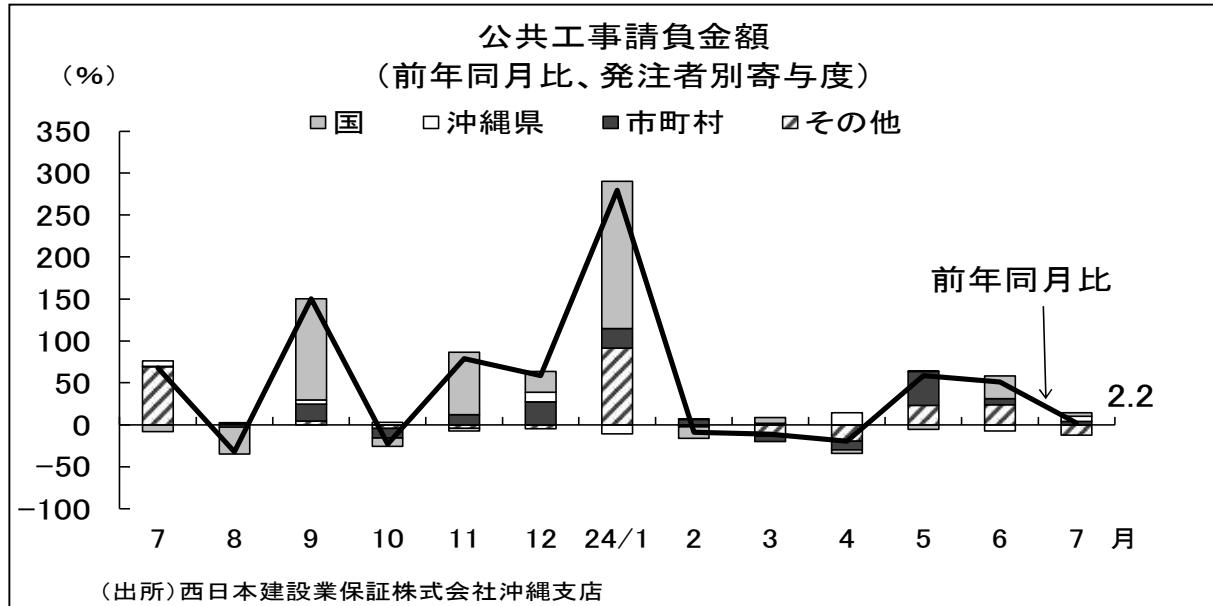
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- 平均気温は30.5°Cで前年同月(29.6°C)より高く、降水量は98.0mmで前年同月(92.0mm)より多かった。
- 沖縄地方は、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、下旬は台風第3号や湿った空気の影響により、八重山地方を中心に大雨や大荒れとなった。
- 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりかなり多かった。

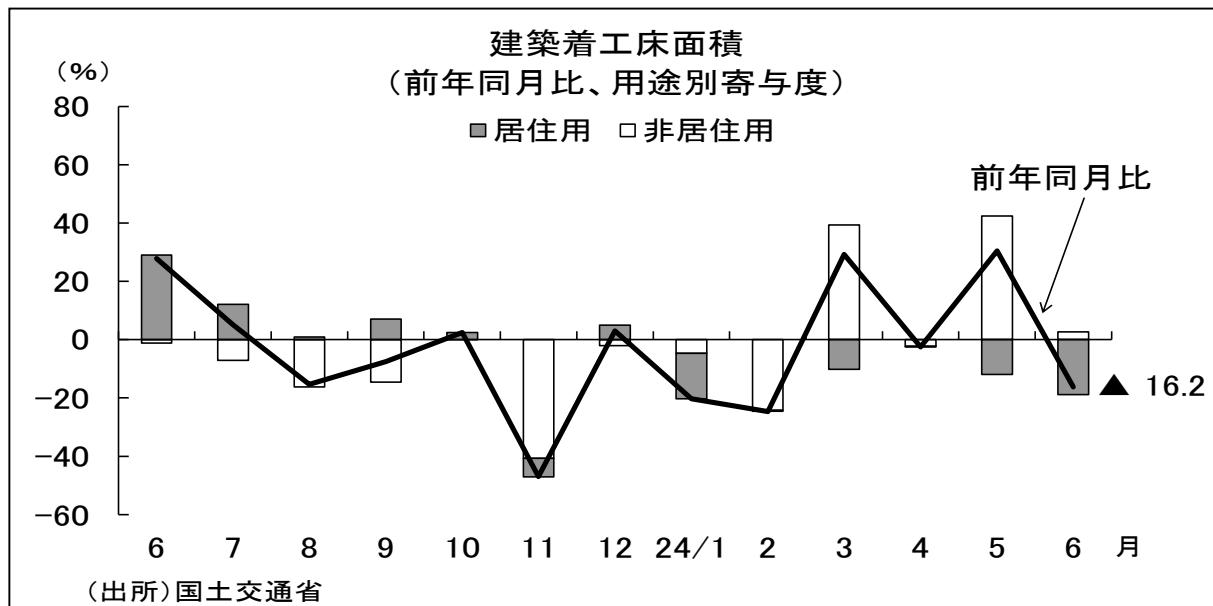
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：3カ月連続で増加



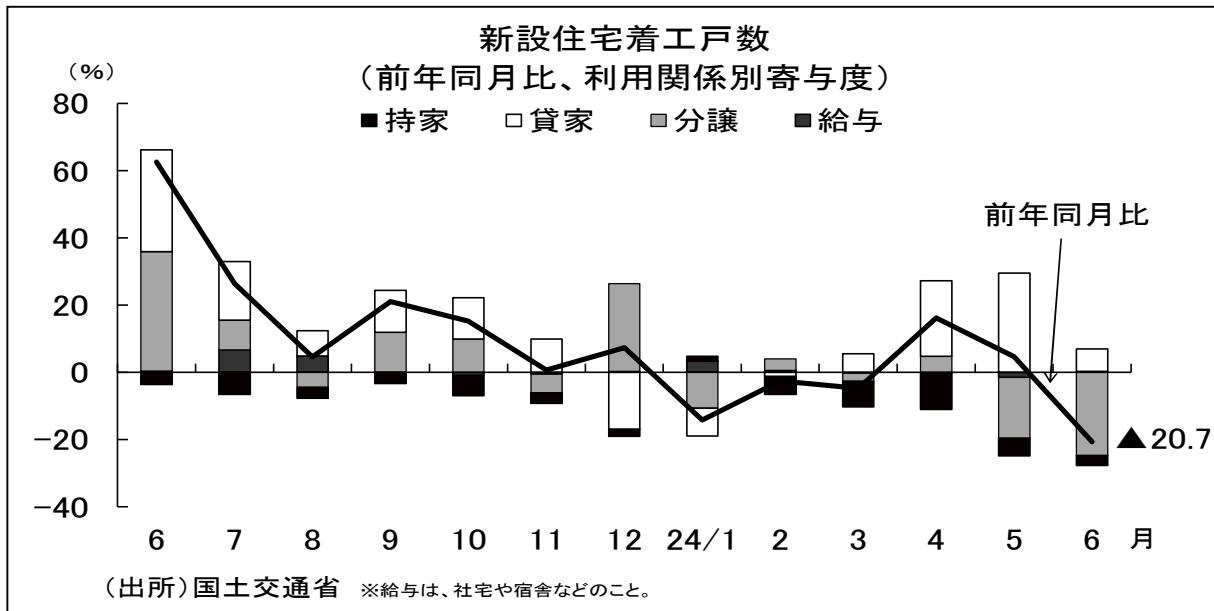
- 公共工事請負金額は、453億9百万円で前年同月比2.2%増となり、3カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国は同23.0%増、県は同53.2%増、市町村は同15.5%増となり、独立行政法人等・その他は同28.3%減となった。

### (2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに減少



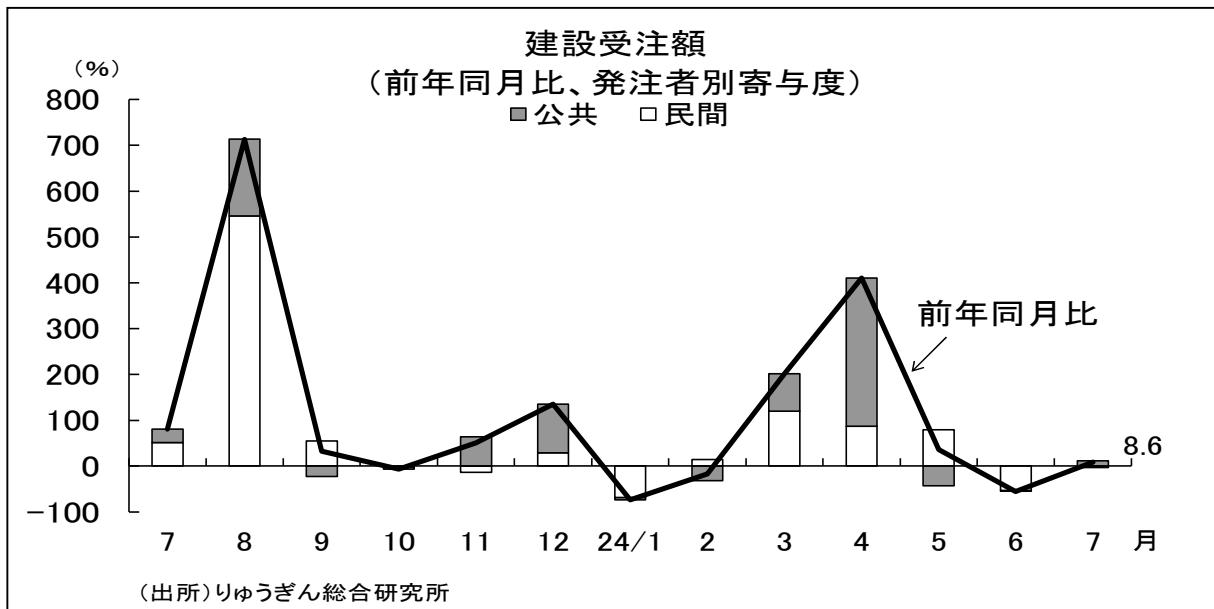
- 建築着工床面積（6月）は13万3,602m<sup>2</sup>で前年同月比16.2%減と2カ月ぶりに前年を下回った。居住用は同28.8%減となり、非居住用は同7.7%増となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、製造業用、その他のサービス業用などが増加し、卸売・小売業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：3カ月ぶりに減少



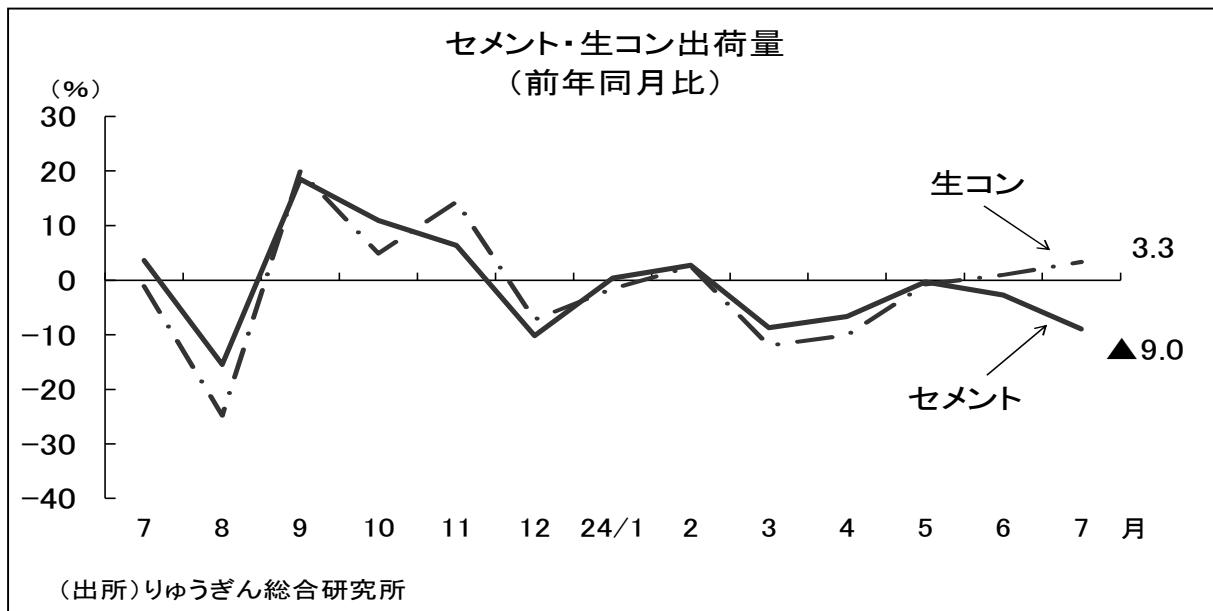
- 新設住宅着工戸数（6月）は962戸で前年同月比20.7%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 利用関係別では、貸家（595戸）が同16.0%増、給与（7戸）が同75.0%増となり、持家（196戸）が同15.2%減、分譲（164戸）が同64.7%減となった。

(4) 建設受注額：2カ月ぶりに増加



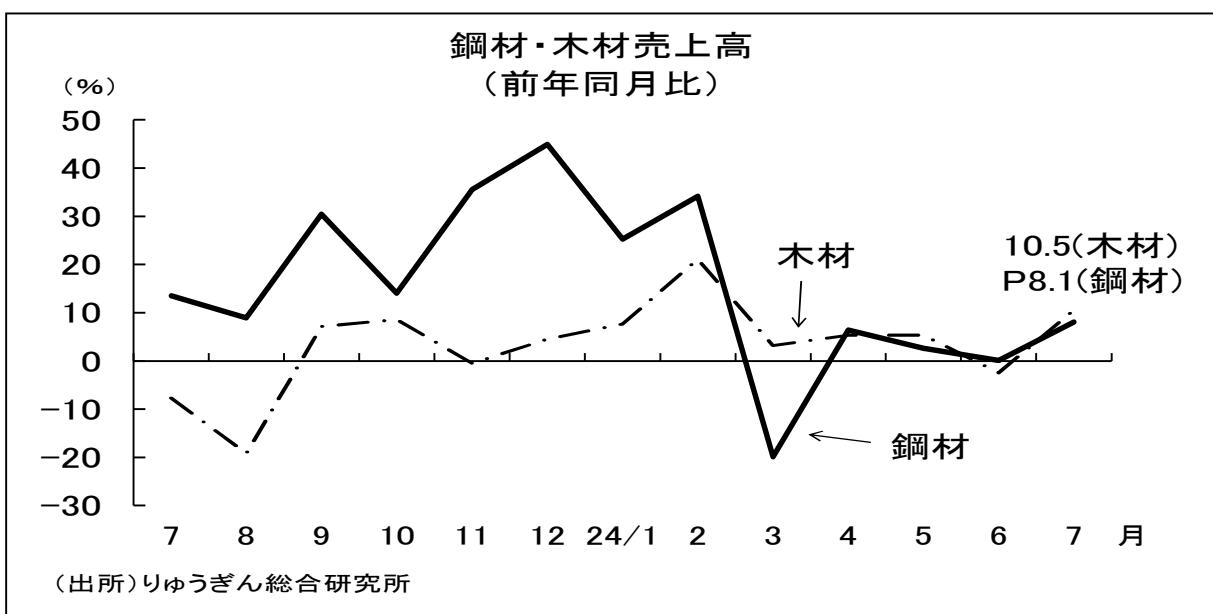
- 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比8.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、公共工事は同44.4%増と3カ月ぶりに増加し、民間工事は同4.4%減と2カ月連続で減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは5カ月連続で減少、生コンは2カ月連続で増加



- セメント出荷量は6万181トンとなり、前年同月比9.0%減と5カ月連続で前年を下回った。
- 生コン出荷量は10万6,830m<sup>3</sup>で同3.3%増と2カ月連続で前年を上回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、一般土木向け、防衛省向けなどが増加し、公共施設向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向け、店舗向けなどが増加し、個人住宅向けなどが減少した。

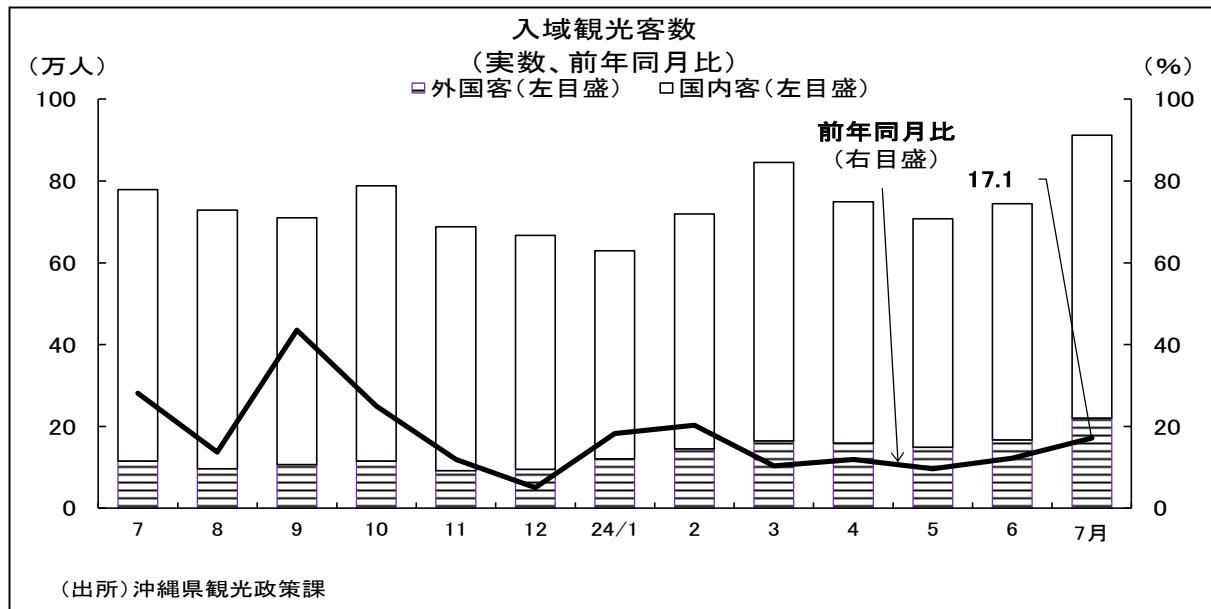
(6) 鋼材・木材：鋼材は4カ月連続で増加、木材は2カ月ぶりに増加



- 鋼材売上高（速報値）は、出荷量が増加したことなどから前年同月比8.1%増と4カ月連続で前年を上回った。
- 木材売上高は、出荷量が増加したことなどから同10.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

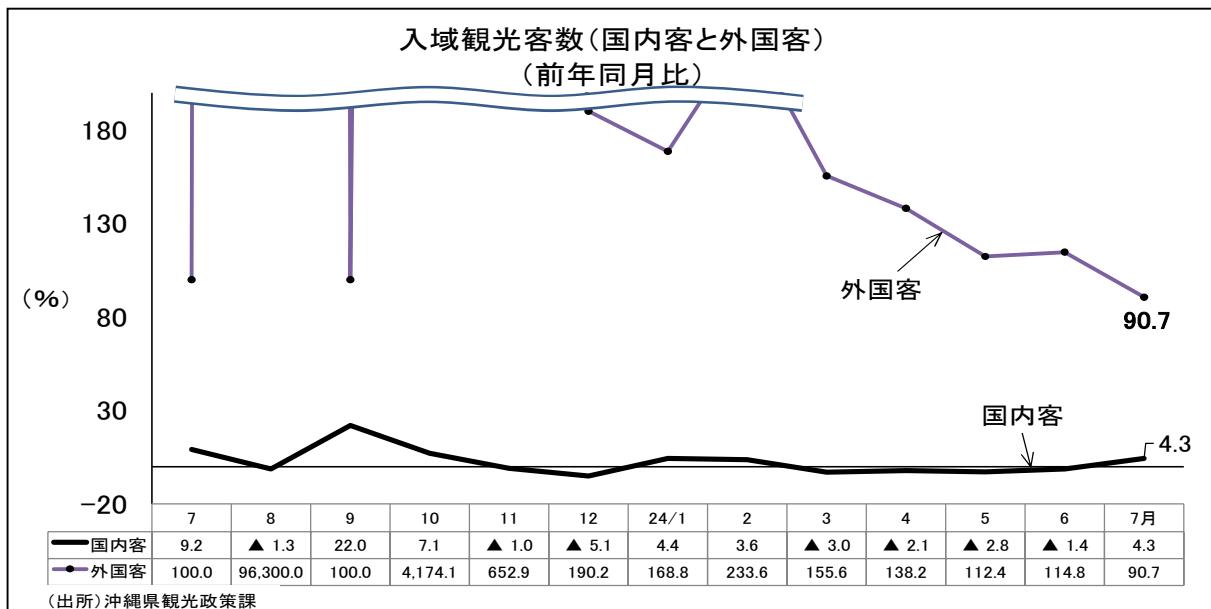
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：32カ月連続で増加



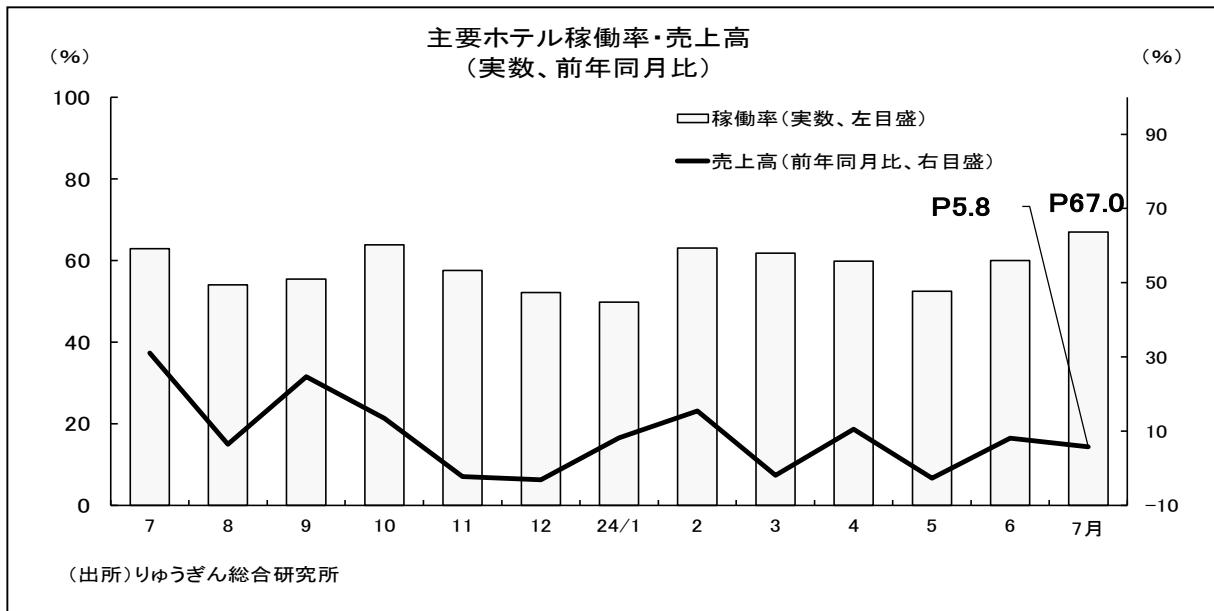
- ・ 入域観光客数は、91万2,000人（前年同月比17.1%増）となり、32カ月連続で前年を上回った。
- ・ 路線別では、空路は82万400人（同11.6%増）となり32カ月連続で前年を上回った。海路は9万1,600人（同110.1%増）となり23カ月連続で前年を上回った。

#### (2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は5カ月ぶりに増加、外国客は22カ月連続で増加



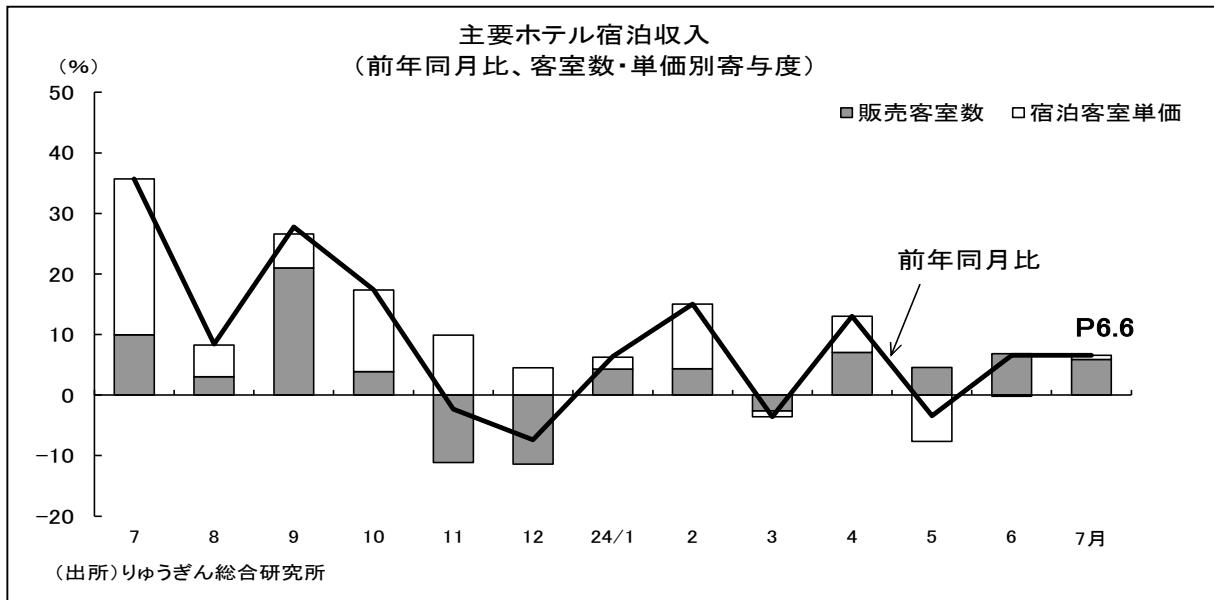
- ・ 国内客は、69万2,300人（前年同月比4.3%増）となり、5カ月ぶりに前年を上回った。外国客は21万9,700人（同90.7%増）となり、22カ月連続で増加した。
- ・ 先島諸島に台風が接近したことによる航空便の欠航やクルーズ船のキャンセルなどはあったものの、夏の旅行需要の高まりを受けた航空会社の増便・季節運航や、花火大会などの各種イベントの開催により、国内客も好調な推移となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は4カ月連続で上昇、売上高は2カ月連続で増加



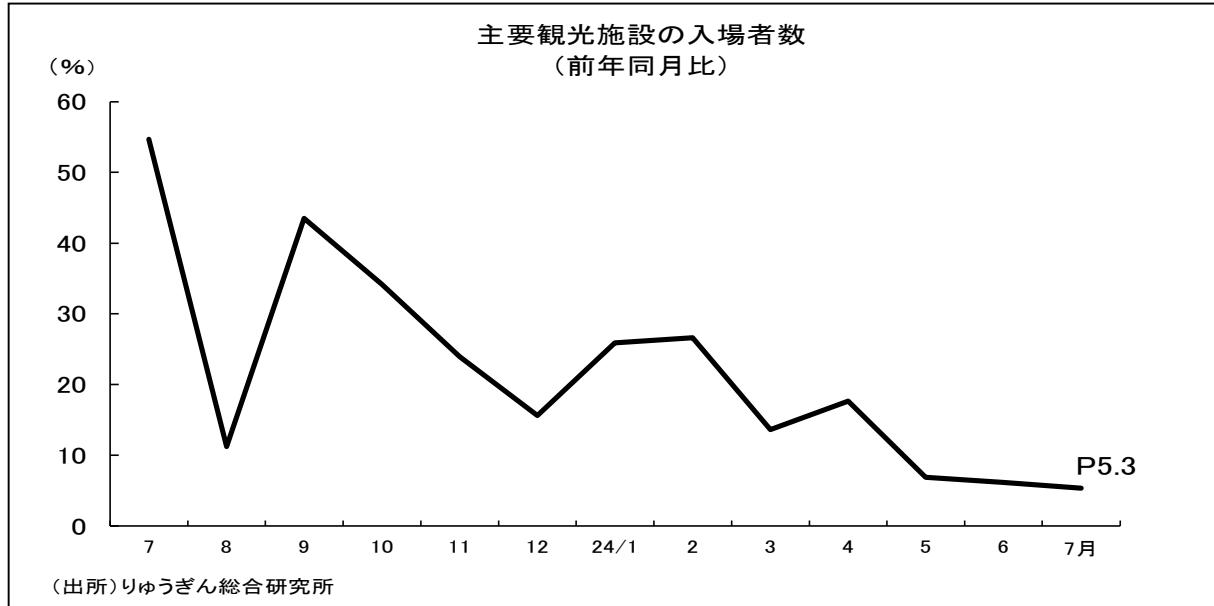
- 主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は67.0%と前年同月差4.1%ポイント上昇し4カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比5.8%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 那覇市内ホテルの客室稼働率は70.5%と同15.4%ポイント上昇し、7カ月連続で前年を上回り、売上高は同26.6%増と8カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は65.7%と同0.1%ポイント低下し、4カ月ぶりに前年を下回り、売上高は同3.6%増と2カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で増加



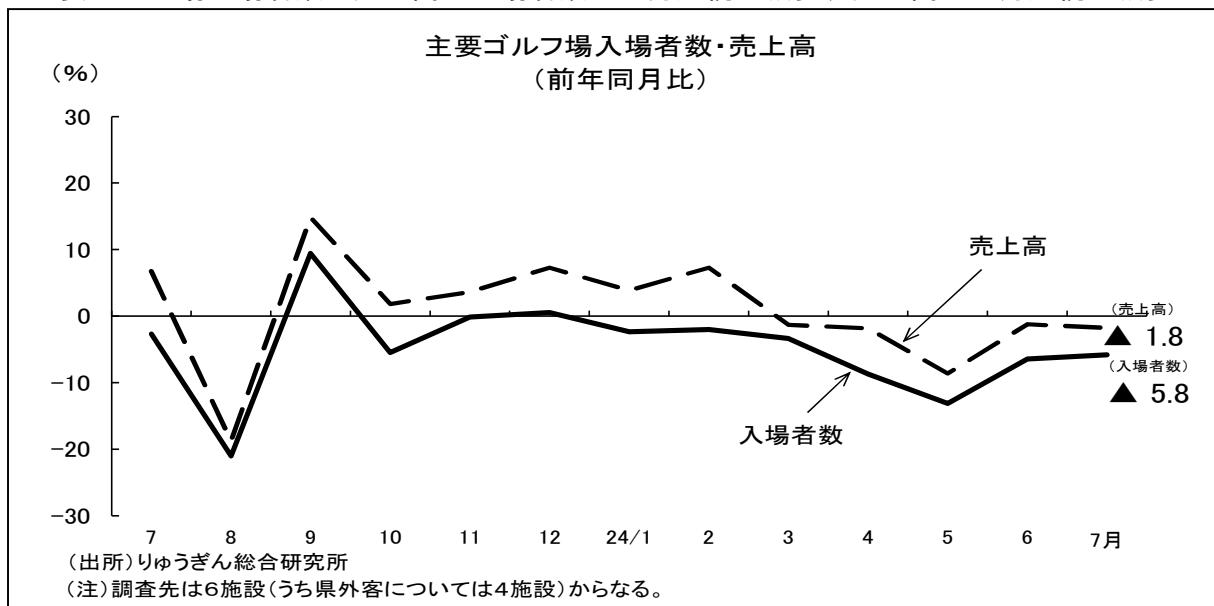
- 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比6.6%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価は上昇し同29.4%増となり、7カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）は販売客室数が減少、宿泊単価は上昇し、同4.3%増と、2カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：29カ月連続で増加



- 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 5.3% 増と 29 カ月連続で前年を上回った。
- 県内外からの教育旅行が増加しているほか、一般団体客も増加傾向にあり好調に推移した。

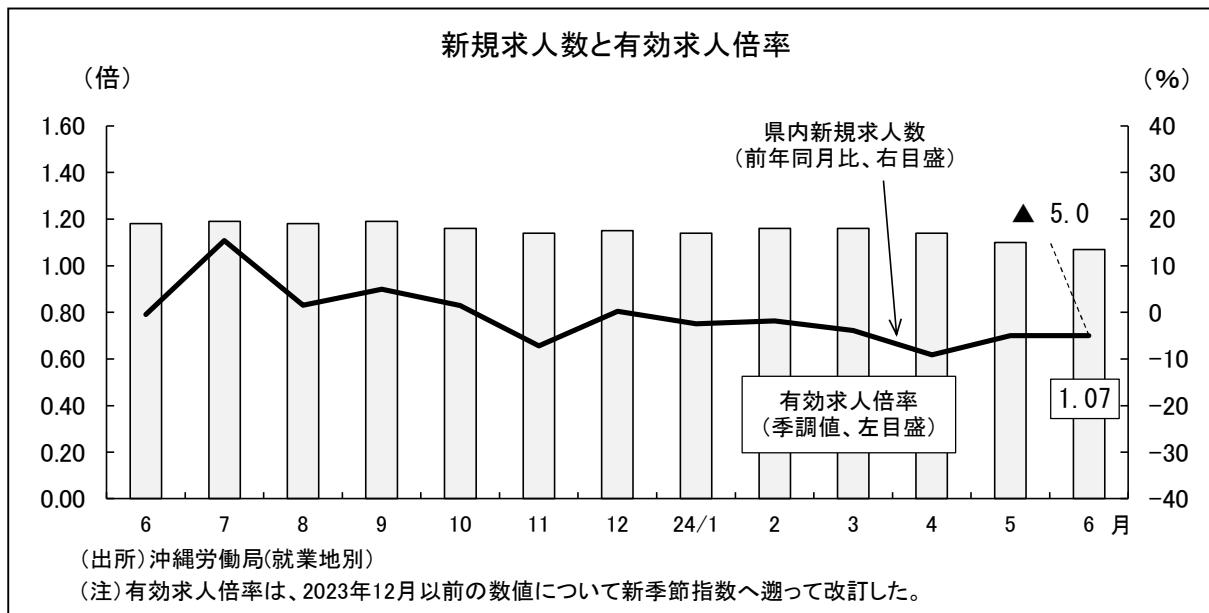
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数 7 カ月連続で減少、売上高 5 カ月連続で減少



- 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 5.8% 減と 7 カ月連続で前年を下回った。県内客は 4 カ月連続で前年を下回り、県外客は 2 カ月ぶりに前年を下回った。売上高は同 1.8% 減と 5 カ月連続で前年を下回った。
- 台風第 3 号接近による天候不良でのキャンセルがあったことや、猛暑でプレーを控える動きもみられ、入場者・売上ともに減少した。

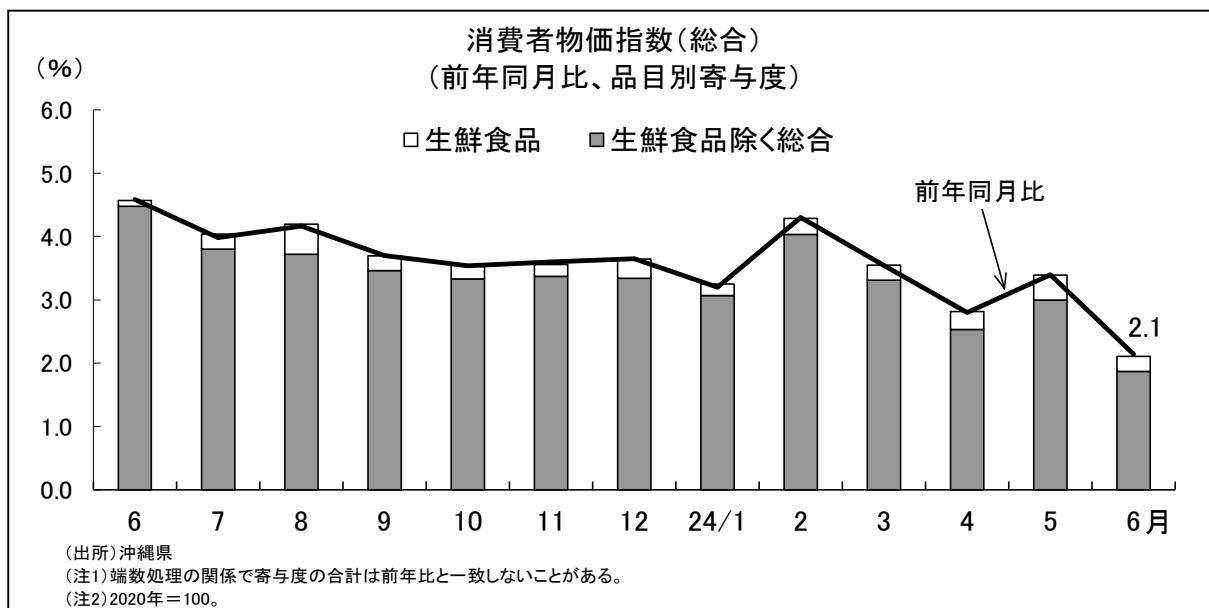
## 4. その他

### (1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



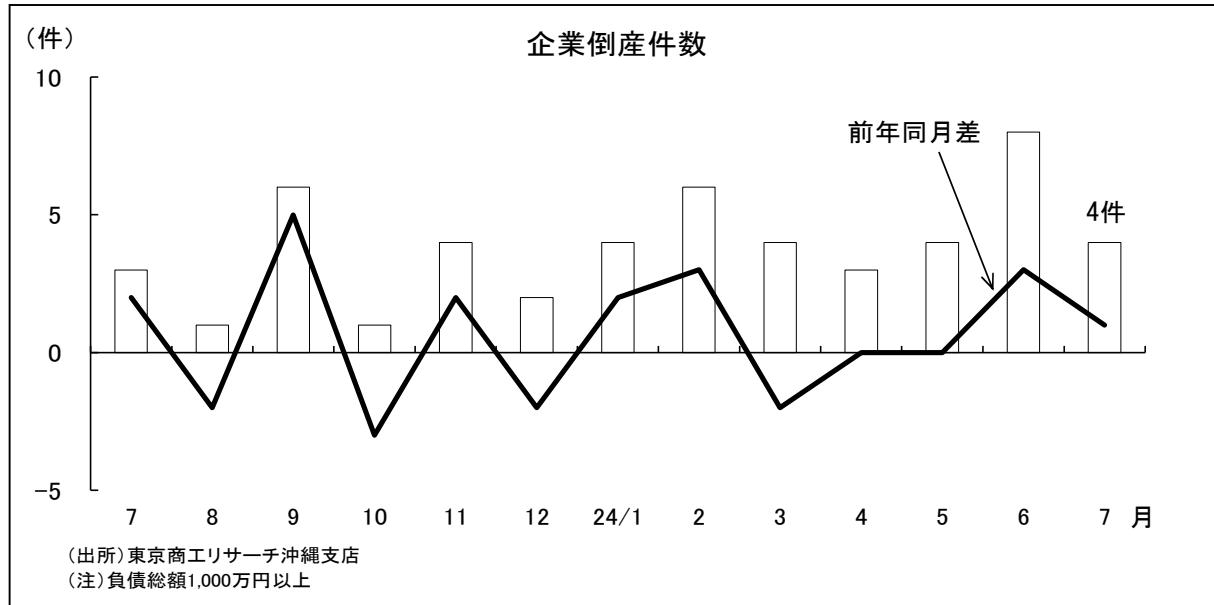
- 新規求人数（6月）は、前年同月比 5.0% 減と 6カ月連続で前年を下回った。産業別では、運輸業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）などで減少した。有効求人倍率（6月、季調値）は 1.07 倍で、前月から 0.03 ポイント低下した。
- 労働力人口（6月）は、78万人で前年同月比 0.1% 減となり、就業者数は、75万8,000人で同 0.1% 増となった。完全失業者数は2万2,000人で同 8.3% 減となり、完全失業率（6月、季調値）は 2.9% と、前月から 0.4 ポイント低下した。

### (2) 消費者物価指数（再掲）：34カ月連続で上昇



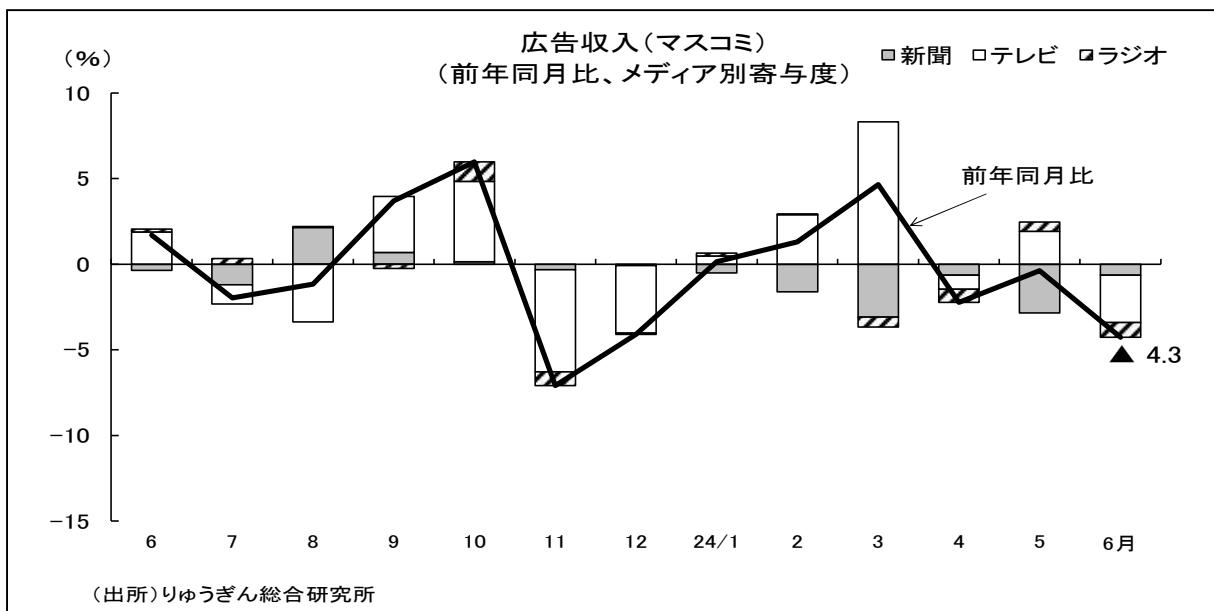
- 消費者物価指数（6月）は、前年同月比 2.1% の上昇となり、34カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 2.0% の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.3% の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料や交通・通信などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

### (3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- 倒産件数は4件で前年同月から1件増加した。業種別では、小売業1件、サービス業他3件となった。
- 負債総額は10億9,900万円で、前年同月比647.6%増となった。

### (4) 広告収入（マスコミ）：3カ月連続で減少



- 広告収入（マスコミ：6月）は、前年同月比4.3%減と3カ月連続で前年を下回った。
- 前年と比較すると企業の大型広告や、通販関連に減少がみられた。

沖縄県内の主要金融経済指標

## 沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2023 6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	11.8	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	97	▲ 15.3
9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	29.3	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	134	▲ 16.2
7	0.7	2.5	2.9	-	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	-	-	-
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	-	-	-
2023 6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	208.1	0.0	▲ 2.3
7	924	26.4	80.6	3.6	▲ 1.1	13.5	▲ 7.7	206.9	▲ 6.9	▲ 2.3
8	847	4.6	713.2	▲ 15.5	▲ 24.8	8.9	▲ 19.2	234.0	0.0	▲ 2.3
9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	P30.4	7.2	245.2	6.9	0.0
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	P14.1	8.6	245.4	3.6	3.5
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	P35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	P44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	P25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	▲ 17.0	2.7	2.5	P34.2	21.1	261.1	0.0	0.0
3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	P▲19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	P6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	P2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	962	▲ 20.7	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	P0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
7	-	-	8.6	▲ 9.0	3.3	P8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

## 沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	暦年	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 41.0	8.6
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	P62.9	3.3
2023 6	663.4	47.9	77.7	100.0		55.4	52.3	51.6	80.7	▲ 6.6
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	54.7	▲ 2.7
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	11.2	▲ 21.0
9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	P43.5	9.4
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	34.2	▲ 5.5
11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	26.6	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	53.5	17.6	▲ 5.6	6.9	▲ 13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	P58.4	19.5	P62.2	P6.1	▲ 6.4
7	912.0	4.3	219.7	90.7	70.5	P65.7	26.6	P3.6	P5.3	▲ 5.8
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゆうぎん総合研究所調べ					

	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人 数 (県内)	広告 収入
	暦年	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	3.9
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2023 6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1.7
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	▲ 2.0
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	▲ 1.2
9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	3.7
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	6.0
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.16	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.3	1.1	1.16	▲ 3.9	4.6
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.9	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.10	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	2.9	0.1	1.07	▲ 5.0	▲ 4.3
7	4	1,099	647.6	-	-	-	-	-	-
出所	東京商エリサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゆうぎん 総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人人数は、就業地ベース。

### 沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)	地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)			
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	58,716	4.1	58,037	4.1	41,033	0.5
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	3,903	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2023 6	187	286	▲ 98	1.329	62,029	2.1	61,274	2.0	41,570	1.6
7	196	279	▲ 83	1.325	62,316	2.3	61,590	2.2	41,630	1.6
8	246	364	▲ 117	1.325	62,275	2.4	61,531	2.4	41,559	1.3
9	167	418	▲ 251	1.325	62,215	2.8	61,480	2.8	41,799	1.3
10	209	323	▲ 113	1.327	61,897	2.2	61,174	2.2	41,641	1.2
11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	—	—	—	—	63,609	2.5	62,838	2.6	42,858	3.1
7	—	—	—	—	—	—	62,633	1.7	43,166	3.7
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店	沖縄県銀行協会				

注)銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注)貸出金利は、曆年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2021FY	10,428	1.0	3,005	4.9	—	—	44,890	126,238
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	—	—	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	—	—	52,671	288,310
2023 6	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1	72.9	▲ 0.4	1,429	20,164
7	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3	70.4	0.3	1,943	47,767
8	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5	68.8	▲ 0.5	1,326	36,444
9	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7	78.7	7.8	2,555	15,641
10	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4	72.9	1.1	1,620	17,430
11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	—	—	7,384	25,091
7	99,054	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	—	—	3,042	55,228
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注)県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注)鉱工業生産指数は曆年ベース。曆年値、前年比は原指数の増減率。 2019年4月より2015年=100に改定された。

注)貿易概況は、曆年ベース。